

2019年7月1日

各位

ダイダン株式会社

梅雨時期の湿度環境を改善する 低コストの手術室向け空調システム「からっとオペ」を開発

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：藤澤一郎）と有限会社旭計装（本社：福岡市東区、代表取締役：中尾博一）は、医療従事者の快適性を向上させる、低コストかつ省エネな手術室向け空調システム「からっとオペ^{※1}」を共同開発しました。

従来の室内温度による制御に加え除湿機能を備えており、梅雨時期に高湿度になりがちな手術室環境を改善し、不快感を取り除きます。また、除湿時の冷えすぎ防止には、冷房の排熱を利用した省エネ性の高い室温制御を行うため、運転コストの低減にも貢献します。

■ 「からっとオペ」開発の背景

一般的に手術室の湿度は50%^{※2}が目標値とされており、これを実現するには外気処理空調機を備えた高度な空調システムが必要となります。しかし、中小規模の医療施設の手術室においては、導入コスト・運転コストの観点から、温度制御のみで除湿機能をもたない空調システムを採用するケースが多くありました。この場合、外気が低温・高湿度になる梅雨時などは、冷却による除湿が働かず手術室の湿度が上昇しがちでした。この結果、結露によるカビの発生や医療従事者の不快感による集中力低下などが懸念されていました。

「からっとオペ」は、除湿機能により手術室内の快適性の向上を図るとともに、優れた省エネ性により運転コストの低減を図ります。

■ 「からっとオペ」の特徴

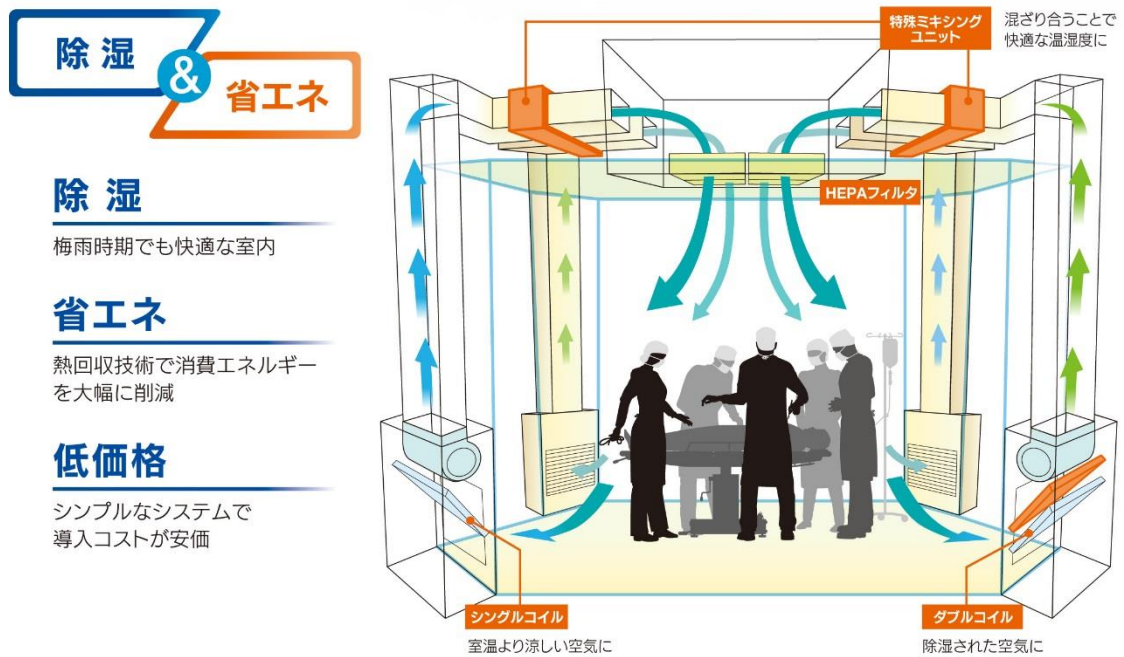
- ・以下の3つから構成されています。
 - ① <冷房除湿+加熱>のダブルコイルの空調ユニット
 - ② 冷房専用のシングルコイルの空調ユニット
 - ③ 両ユニットの吹出し空気を混合するミキシングユニット
- ・ダブルコイルのユニットは、冷暖フリーの汎用のパッケージエアコンを応用し、低コストを実現しています。
- ・加熱コイルは冷房の排熱を利用するため、通常の電気ヒーターなどでの加熱に比べて、ランニングコストを大幅に低減できます。

■販売目標

3年間で20セットの販売を目指します。

※1 商標登録申請中、特許出願中

※2 一般社団法人日本医療福祉設備協会規格 病院設備設計ガイドライン(空調設備編)
病院空調設備の設計管理指針HEAS-02-2013



からっとオペの概要

<本件に関するお問い合わせ先>

ダイダン株式会社 エンジニアリング本部

〒163-0515 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル

Tel : 03-5326-7133, E-mail : tech-info@daidan.co.jp